



## □□探究活動『領域内セレクション』□□

### 1. 目的

- (1)自身の探究の成果を、他者に伝える機会とし、1, 2年生全員が発表を行う。  
→プレゼンテーションのスキルを身につける。
- (2)他のグループの発表を聞いて、評価することで、自身の探究を振り返る機会とする。  
→傾聴する。疑問をもつ。質問する。議論する。聞き手としてのスキルを身につける。
- (3)領域の代表グループを選出し、2月22日に開催されるSSH成果発表会で発表する。

### 2. 日程

- 1月23日(木)：2時間 領域内内セレクションの準備  
1月30日(木)：2時間 領域内セレクション  
代表グループの選出(領域の人数によって、2~4グループ)

### 3. セレクションの方法

- (1)発表形式原則としてポスター発表形式とする(領域担当教員の指示に従う)。  
(生徒発表会(2/22)当日の発表形態については、後日希望調査を行い、調整する。)

- ①資材 模造紙、プレゼンテーションボード、コピー用紙(B5、B4、A4等)  
マジック、テープ 【保管場所：3A教室】
- ②発表 発表時間：10分程度  
発表時間、質疑応答の時間は、各領域において発表数に応じて設定する。

### 4. プレゼンテーション(ポスター等)の作成

- ①項目を設定する。(発表の流れを考える。)
- ②各項目の内容をコピー用紙1枚にまとめる。
- ③模造紙、またはプレゼンテーションボード上にレイアウトする。
- ④ ①~③を繰り返す。 くり返ししながら、論点を整理し、より「わかりやすい」発表を作成する。



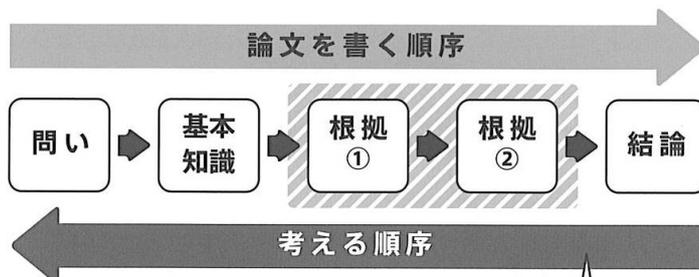
### 5. 論理的な思考法

「わかりやすい」とは、「伝えたいこと(結論)」を支える「根拠」が明確であること、その論理がシンプルであることです。

- ①「伝えたいこと」を支えるのは、正しい根拠です。



- ③結論が変わることもある。  
タイトルが変わることもある。



内容を考えるときは、書くときの逆で考えます

#### 【参考文献】

- ①理科課題研究ガイドブック ~どうやって進めるか、どうやってまとめるか~  
小泉 治彦 著 千葉大学 先端科学センター
- ②学びの技 14歳からの探究・論文・プレゼンテーション 後藤 芳文 他 著 玉川大学出版部
- ③理系のための上手な発表術 諏訪 邦夫 著 講談社サイエンティフィック